

自己評価結果公表シート

令和5年度
社会福祉法人 三愛福祉会
志茂保育園

☆園概要☆

令和2年度より、北区指定管理園として運営開始いたしました。

☆法人理念☆

一人ひとりの子どもが
心より愛されていると実感し
安心した日々を過ごし
生きる力、将来への夢と希望が
支えられ育まれる
子育てを通してすべての人々の
自己実現をねがい
ニーズを先駆的に取り組み
ともに歩み
未来を創っていく

☆私たちの価値観☆

- ・常に最高の教育・保育内容を学んでいきます。
- ・日々最高の教育・保育実践を追求していきます。
- ・子ども、保護者、職員、地域の笑顔を創ります。
- ・地域社会の幸せに貢献します。

☆私たちの目標☆

1. 持続的成長法人を目指します。
2. 心からのファンを持つような、地域から支持の高い法人を目指します。
3. 職員とその家族が誇れる、職員満足の高い法人を目指します。
4. 自法人らしさを大切にしていると思われる、個性あふれる法人を目指します。
5. 地域や社会からなくてはならないと思われる法人を目指します。

☆一人ひとりが大切にすること☆

- ①コミュニケーションを通して、開かれた正直な人間関係を構築しよう。
- ②チームで創り上げる力、お互い様の気持ちを育てよう。
- ③情熱と継続する意志を持とう。
- ④成長と学びを追求しよう。
- ⑤謙虚さを忘れずに。
- ⑥変化を受け入れて、前向きに原動力

☆基本理念☆

【安心そして信頼すべては子どもの最善の利益のために】

☆基本方針☆

- ・子ども達が望ましい未来を作り出す生きる力の基礎を培います。
- ・愛情いっぱいにあたかく受容し、信頼感や自己肯定感を育てていきます。
- ・日光、空気、土と水を大切に、子どもが育つ場にふさわしい施設設備に努めます。
- ・一人ひとりの子が、力いっぱい、精いっぱいの生活ができる楽しい園づくりを目指します。
- ・保護者や地域の人達に好かれ、信頼され、地域の団体や諸機関にも開かれた園づくりを目指します。
- ・地域社会の一員として園に関わるすべての人々の自己実現につながる活動を目指します。

☆保育目標☆

友達と仲良くできる子 からだの丈夫な子
一生懸命がんばる子 よく考え行動する子
思いやりのある子
「たくましい体と心豊かな子どもの育成」をめざして子ども一人一人が、楽しく充実した園生活を送れるように努力する。

☆令和6年度重点的に取り組む目標☆

◎保育内容

- ・主体性について話し合いを重ね、子どもたちが主導し進められる活動を取り入れた保育を目指す。
- ・子ども達との対話や子ども同士の対話の充実も進めていく。
- ・地域の療育施設や心理士の先生のご指導を受け、困った感を持っている子ども達に寄り添った保育を行っていく。

◎人材育成

職員一人ひとりが宝である。自園らしさとして、研修を受けた時の気づきを実現したい先生方の姿として言葉に落とし込みました。

- ・笑顔あふれるチームとしての活躍を目指す。

◎保育環境

子ども自らが自分で考えられるように促す態度で接し、子どもに伴走しながら、子どもが興味・関心を抱いたときに、それを膨らませるような環境づくりをする。

◎組織運営

- ・法人としての基本的な考え方(クレド)やルールを理解し、子ども達のための保育が継続され最善の利益のチームとしての組織を目指す。
- ・働きやすさから働きがいへと思ってもらえるような安心感、成長しようと思う意欲や実際に何かしらの行動に移せる行動力等をお互いに見つけられるように対話を重視する。

◎保護者・地域

- ・子育て支援事業を行っています。来ていただいた方のニーズに合わせて保育園にしかできないことを始めています。今後も地域のニーズに合わせて拡大し、どんな園なのか、どんな雰囲気なのか今までに加えて広報活動を続けていきます。

◎オペレーション改善

- ・業務改善しやすい環境を目指します。

◎SDGsが実感できる活動実践

- ・再生可能なものへの意識が育つ取り組みを行っていく。

☆評価項目別の達成及び取組状況☆

項目	取組状況
基本理念・基本方針・保育目標を認識し、職員間の共通認識を図る。	法人理念、私たちの目標、私たちの価値観などが載っているクレドは毎日の夕礼で読み上げている。 職員間の共通認識として保育にあたるようにしている。
保育、教育内容	各クラス一人一人の心とからだの発達の状況を把握し、心身の安定と創造性、道徳性、心情や思考力の芽生えを培い主体的に取り組めるよう保育しています。 日々子ども達の興味関心がわくような保育、主体的に取り組める保育を心がけて行ってきた。
保育の質を向上させる会議、研修の充実	職員会議・深化承認会議・主任副主任会議の充実とリーダー会議や昼礼(10分間)を行うことを新たに加え、コミュニケーションをはかるようにして成果を上げています。 キャリアコンパス面接を行うことで、各先生方の考えていることがよくわかり、コミュニケーションツールとなっています。 今後もうまくつなげていきたいと思えます。 経営方針発表会で法人内の他の園を知る機会がありお互いに高め合う内容となりました。又各園の今後の事業計画を知ることで向かうべき保育の道しるべを知り、自分たちの保育の振り返りができた。
保育計画への職員間の共通理解を図る。	保育指導計画は保護者に見てもらえるように貼りだしをしています。深化・承認を充実させ子ども主体の保育になるようになってきました。 コロナが5類となったため異年齢交流も反映させた計画を立てています。
危機管理	第三者評価で避難場所についてのご意見をいただきました。 不審者訓練を外部講師の先生に来ていただいて行いました。 危機的状況になった時にチームで行動できるようにこれからも

	訓練等を重ねていきたいと思ひます。
保護者とのかかわり	パパ・ママ保育体験や子育て楽しもうノートを始めました。 保護者の皆様からのご意見を参考に行事等進めてきています 今後も動画配信やアンケート・面談・保育体験等を取り入れ、 保護者のニーズを上手く取り入れていきたいと思ひます。
地域との交流	地域のボランティア団体の方々と交流ができています。 地域老人福祉施設の方々と交流が始まりました。 今後も広く交流ができるように、自治会長さんとは連携をして 行きたいと思ひます。

★職員の総合評価★

- ・保護者との交流が増えたと認識している職員が増えました。
- ・研修が昨年度より充実しているという評価が多かった。
- ・一人担任のファロー体制が整ったという認識を持っている。
- ・現場の意見を聴いてもらえているという職員が増えています。
- ・風通しの良い職場環境になったという声が多かった。

★振り返り・今後の課題★

- ・主体的保育についてリーダー会議などで話し合い共有し、共通理解を図る。
- ・安全対策として不審者実施訓練や不適切保育研修・子どもの人権や性教育について
繰り返し行って同僚や他者の意見を知る中で意識を持つことを今後も継続する。
- ・地域交流も今後も広げていく。
- ・子育て支援の充実をし、地域ニーズの把握をしていく。
- ・保護者の意見の反映のためのアンケートや面談・保育体験の充実を今後も図って行く。
- ・業務改善として書類の見直しをし、時間の確保などの協力体制を今後もしていく。
- ・SDGsの取り組みとして子どもたちにも見える形での活動を計画に反映していく。